## 2025年 鵜沼第一小学校 実践構想図

## 【学校の教育目標】

# 誇りをもって 進んで やりぬく子

よく学ぶ子 心のやさしい子 体のじょうぶな子

#### 【児童の実態】

- 〇無回答率が低く,基本的な計算問題はできる児童が多い。
- 〇パターン化されたものについては説明できる児童が多い。
- **〇図や式など**, 自分の考えの書き方が分かるようになってきた 児童が多い。
- O図と式をつないで理由を説明することができるようになって
- △単元ごとに学習した時は図と式をつないで説明することが できるが、時間がたつと忘れてしまう。
- △分数や小数が含まれる計算(特にわり算)が弱い。
- △数量や図形についての感覚が十分でないため、生活に生か すことの難しい児童が多い。
- △文章を読んで必要な情報を抜き出し、立式することが苦手 な児童が多い。

## 【願う児童の姿】

- ・具体物や図を指し示しながら,図と式をつないで自分の言 葉で説明することができる。
- ・算数用語を用いて,自分の考えを筋道立てて説明すること ができる。
- ・既習内容とつなげて考えることができる。
- ・分数や小数が含まれる計算を正しくすることができる。
- ・複数の情報から、必要な情報を読み取ることができる。
- 自分の考えを仲間の考えと比べながら聞いたり、仲間に伝え たりしながら考えを深めることができる。
- ・数量や図形についての感覚を豊かにし、生活に生かすこと ができる。
- ・数とその表現や数量の関係に着目し、数直線図や線分図な ど、目的に合った表現方法を用いて表すことができる。

#### 【実践主題】

# 「分かった!」「できた!」「楽しかった!」が実感できる学習活動

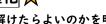
## 【実践内容と具体的な手立て】

## 【実践内容① 個別最適な学びの視点】

#### (1)具体物、半具体物の操作

・事象,数や量の確認や比較・検討をすることで,問題設定 の場面状況をより正しく理解し、課題解決の見通しをもて るようにする。

## (2)終末での児童の姿の明確化☆



・終末で、どの問題を、どのように解けたらよいのかを明確 にした授業づくりを行う。

## (3)習熟時間の工夫

・評価問題を段階的に提示したり、定着度に応じた問題を用 意したりして、学習内容がしっかりと身に付いているか定 着を図る。

☆2025年に重点的に実践する内容

## 【特別支援学級 実践内容①】 教材や単元構成の工夫

#### |(1) 教材の開発

- ・子どもたちが意欲的に取り組める題材や教材を開発する。
- ・教科の本質と、子どもの発達上の課題を考え合わせて、子 どもたちにとって最適な教材や教具を工夫する。

## (2)単元構成の工夫

- ・子どもたちの意慾を持続させるために、単元の構成を工夫
- ・身に付けたことを、様々な場面で生かせるような単元指導 計画を工夫する。

## 【実践内容② 協働的な学びの視点】

## (1)交流活動の工夫 ☆

・何のための交流なのかを明確にし、ペア交流やグループ交 流等の活動を通して、考えを深められるようにする。

#### |(2)言語活動の工夫|

・自分の考えを分かりやすく仲間に伝えたり、仲間の意見を 自分の考えと比べながら聞いたりすることができるように

#### (3)話型の活用

・自分の考えの根拠を明確にし、順序立てて、算数用語を使 って話すことができるようにする。

# |(4)まとめ,振り返りの場の設定|☆

・課題に対する自分なりの解決を振り返る場を位置付け、自 分でその時間の学びを振り返ることができるようにする。

## 【特別支援学級 実践内容②】 支援の工夫

#### |(1)学習環境の充実|

- ・人的環境、物的環境を整備する。
- ・体験的な活動を位置づける。
- ・視覚的な支援を工夫する。
- ICT機器の活用をする。

## (2)まとめ、振り返りの場の設定

- ・自分や仲間の成長を確かめる振り返りを位置づける。
- ・個に応じためあての設定と評価の工夫をする。
- ・終末の評価と、適宜行う評価の工夫をする。